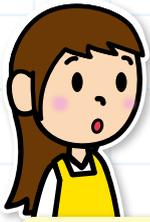


今は、どうなっているの？



福島原発事故当時から現在まで、放射性物質はどう広がったの？

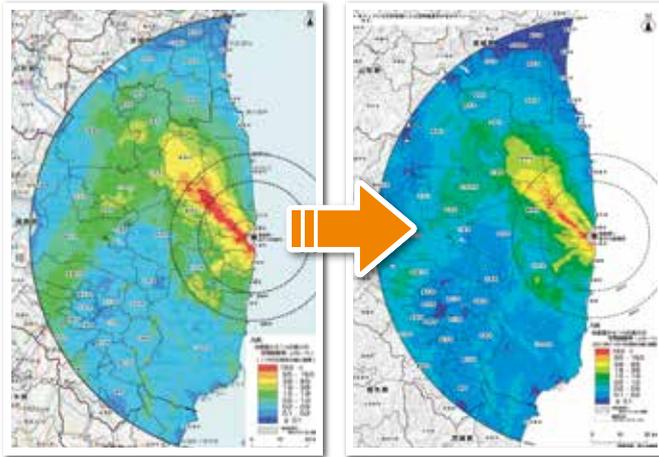


事故当時と現在のモニタリングマップを見てみよう。

空間線量率を比べてみよう！

(出典)調べてなっとくノートより
原子力規制委員会

事故当時は、放射性物質を含んだ雲が南南東の風で流れているときに雨が降ったから福島原発から北北西の方向を中心に広がっていったよ。



平成23年11月5日時点

平成25年11月19日時点

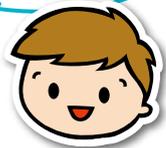
測定条件

- 調査対象：福島県及び近県における地表面から1mの高さの空間線量率
- 使用航空機：民間ヘリコプター Bell412及びBell430
- 測定高度：対地高度で約300m

色の意味(単位:マイクロシーベルト/時)



赤い部分が小さくなっているね。

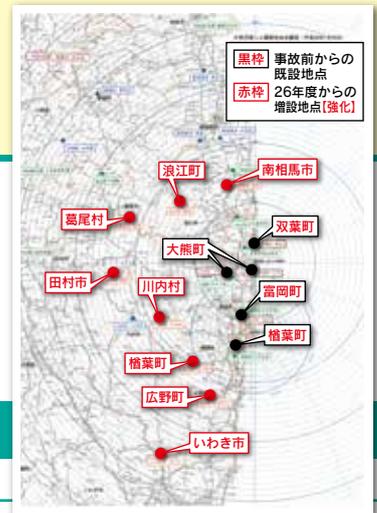


1Sv(シーベルト)=1000mSv(ミリシーベルト)=1,000,000μSv(マイクロシーベルト)



大気モニタリングの調査も実施されているよ！

福島県では平成26年度から、福島第一原子力発電所において放射性物質を含む粉じん等が敷地外に飛散する場合に備えて、モニタリングを次のように強化しているんだ。



連続ダストモニタの追加設置

平成26年4月から

空気中濃度は低くなっています。

※24ページ参照

